



おおさか

年頭所感 活力溢れる組織に！

FF 大阪 会長 森本吉彦

アメリカに新しい大統領が誕生しました。1月21日深夜3時頃までオバマ氏の就任式と就任演説をテレビで視聴しました。彼の冷静にして的確な現状認識に感心すると共に、その難題に取り組む為に全力を尽くすと宣誓する姿勢、また国民に結束と一層の努力を要請する真摯な内容に感銘を受けました。今の未曾有の世界同時大不況は前ブッシュ政権の不作為と愚策の結果だ、と言っても過言ではないでしょう。ですから、オバマ新大統領は単に自国の為のみならず全世界の為に、文字通り「命がけ」で頑張ってもらわねばなりません。



アメリカの威信は正に地に墜ちました。それを回復するのは並大抵な事ではないでしょう。でも彼にはぜひ成功して欲しいものです。新政権がこれから打ち出す諸施策の内容とその実行過程を期待を持って注視しましょう。あれだけ圧倒的な力を持っていた筈のアメリカでも大失敗をしました。その原因は多々あるのですが、一番大きなのは「謙虚さを忘れた傲慢さ」にあったのではないかと、思います。質朴・謙虚・勤勉。これこそ個人・組織・国家を問わず基本となるべきもの。お互いにもって他山の石とする必要があるようです。

私達大阪クラブのこれからの課題は、先輩の皆さんが築いて下さった実績を基盤にして、それをより強固にダイナミックに発展させることです。

活力溢れるクラブにしていきたいものです。‘Dynamic organization’ これを合言葉にしましょう。

18名の委員はその目標の為に今年は次の3つの事を実行します。

1. 新企画：出来るだけ多くの会員が参加頂けるような企画をします。
2. 情報公開：今迄もやってきましたが、その方法をより工夫します。
3. 新会員の勧誘：「総会」出席者の皆さんにもお願いしました。これを率先垂範して行います。



今年は9月にドイツの2つのクラブへ渡航します。10月にはアメリカのクラブの受け入れ。11月には沖縄での世界大会とその終了後参加者を何名か受け入れ、と多くの行事があります。これらに積極参加の姿勢で臨みましょう。それがDynamic organizationに通じるのですから。

第 7 回 総 会 開 催 さ れ る

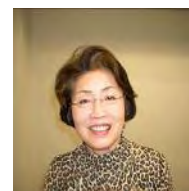
F.F大阪の第7回総会が、2009年1月18日にヒルトンプラザイースト店「四季自然喰処たちばな」において開催されました。出席者37名、委任状25名、合計62名で総会成立。司会 長谷部純子、議長 南方詔夫により議事進行。2008年度活動報告、会計報告、2009年度委員の選出、2009年度活動計画、および予算案など、すべての議案は承認、可決されました。



議事審議のあと、第2部として『Host、Day-Host』について、大下すみ子、池田政綱、二人の講演があり、受け入れ時のホストファミリー、デイホスト、などいろいろな形の役割分担について、海外での体験例を事例にくわしく説明が行なわれました。（この内容については別ページを参照にしてください）そのほかクラブ運営についてなどいろいろな意見交換が活発に行なわれ、盛会でした。

2009年 F.F大阪クラブ 委員一覧

会 長	森本 吉彦	会 計	古川 マツエ	催 事	内山 充子**
副会長	大下 すみ子	広 報	四ノ宮 楡里	催 事	大下 令子**
副会長	池田 政綱*	広 報	市原 稔弘	会計監査	木下 暁
事務局	朝倉 隆夫	広 報	南方 詔夫*	会計監査	米井 登美子*
事務局	朝倉 清美*	催 事	朝比奈 美津子	* 役名変更 ** 新委員	
会 計	木原 利幸*	催 事	細辻 幸子		
会 計	長谷部 純子	催 事	小林 幸代		



内山充子



大下令子

☆ 加羅博子、森川育子、西谷美也子が委員を退任されました。長い間ご苦勞さまでした ☆



会長 森本吉彦



副会長 大下すみ子



副会長 池田政綱



事務局 朝倉隆夫



事務局 朝倉清美



会計 木原利幸

新役員の
方々です

講演 フレンドシップフォースとホストいろいろ

「ホストにはいろいろな形があります。あなたはどんなホストができますか？」そんな問いかけにヒントを与えるお話を！ということで、総会第二部では大下、池田両副会長のお二人が講演されました。

出席者の皆さんから「なるほど、それなら私にもできる」という声が沢山聞かれました。

その要旨を報告します。

まず、大下副会長から「あなたは受け入れでどんな交流をしますか？」というから話をスタート、渡航が参加者だけに限られた活動であるのに比べ、受け入れはクラブ全員が参加できる活動であり、しかも全員の協力なしには成り立たないことを強調されました。



仕事や家庭の事情で部屋の提供ができなくてもデイホストとしてアンバサダーと日中交流することやディナーホストとして夕食でおもてなししてあげることがどれほどホストファミリーの負担軽減につながるか。また、限られた時間のなかでもイベントホストとして語学力、趣味や特技を生かした交流や空港やステイ先への車の送り迎えの協力など様々な関わりができること。頼まれてする交流や協力から一歩踏み出して、自ら何ができるかを考え、「会員一人ひとりが何らかの形で交換に参加することでFFの一員としての誇りを持ちましょう」という願いを込めて話を締め括られました。



次いで、池田副会長からは‘Change the way you see the world’の日本語版を紹介しながら、まずFFの基本理念についての確認から話を始められました。ホストとは誰もがイメージするホストファミリーだけでなく、いろいろな形のホストがあることを知ってほしい。

2008年の新潟での国内交流とハワイ・カウアイへの渡航、更には2007年のトルコ・イズミール渡航で目の当たりにしたデイホストとディナーホストの活動振りについて、いずれもホストファミリーとの見事な連携プレーでそれぞれの役割を自然体でこなしている実態に大いなる刺激を受けたと語られました。そして最後に、地域的に広範囲のメンバーで構成されるFF大阪クラブの実態を踏まえ、いくつかのエリア毎にグループを作り「各エリア単位でホームステイストやデイホスト、その他のホストが連携しながらそれぞれの役割を果たす、そんな組織作りを目指そう」と提言されました。組織協力体制が確立すれば、おのずから日中仕事を持っている人でもホストができるようになるのです。

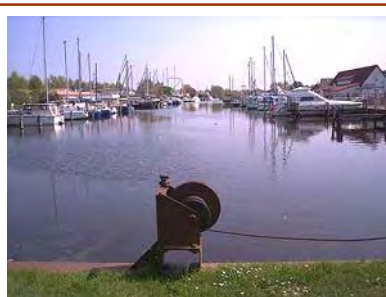


2009年度予定

2月28日 第22回日本大会（西東京クラブ） 10月下旬 受入（アメリカ Olympiaクラブ）
 6月 中部ブロック会議 11月19～22日 世界大会（沖縄）
 9月前半 渡航（ドイツ Vogtland & Varelクラブ） ポストカンファレンスホームステイ

ドイツの渡航先ってどんなところ？

ファレル (Varel)



Varelはオルデンプルグとウィルヘルムスハーヘンの中間に位置する港町で、高速道路や鉄道にリンクしロケーションに恵まれています。いろいろなサービス施設や教育施設のほか大型ショッピングセンターがある商業エリアです。

フォトランド (Vogtland)



Vogtland地方は900mを越える峰々に囲まれた低山岳地帯で、美しい風景だけでなく文化的・歴史的名所を有するエリアです。鉱山業や木彫産業が盛んで、とりわけ音楽機器やレースの製造が世界的に有名です。

Let's try 英会話

4月26日（日）13：30～ 大下すみ子宅（川西市湯山台1-25-12 072-793-4925）にて‘明るく楽しい英会話レッスン’が開かれます。費用は1000円（ビジター1500円） 参加ご希望の方は、米井登美子（075-602-4189 yonei7165japan@festa.odn.ne.jp）までお申込みください。

編集後記

アメリカの金融危機を端を発した百年に一度の世界不況の影響を受け、5月のニュージランド受け入れがキャンセルになりました。少し余裕のあるこの春は、FF大阪クラブの活動を見直すのに良い機会です。クラブの活性化の一環として、手始めに「私にできること（アンケート）」に答えることから始めましょう。

編集・発行 フレンドシップ フォース 大阪クラブ

発行日 2009年2月11日 第30号

事務局 〒594-0013 和泉市鶴山台3-1-40

朝倉 隆夫 tel&fax 0725-43-8331

osaka@friendshipforce.jp

<http://www.friendshipforce.jp/osaka/>

編集人 池田政綱・市原稔弘・大下すみ子・四ノ宮楡里・南方詔夫